

記録
フィルム
カラー／25分
日・英語版

■企画
大成建設株式会社

スタッフ

■製作
村山英世
■脚本・演出
村山正実
■撮影
西山東男
大野 洋
■撮影助手
山屋恵司
木村光男
■照明
本橋俊男
水村富雄
■タイトル
菁映社
■ネガ編集
加納宗子
■音楽
井口明夫
■録音スタジオ
東亜映像録音
■現像所
IMAGICA
■解説
小野田栄一

東京都庁舎は、旧庁舎が手狭になったことがきっかけで、新宿副都心に新しく建設された。新都庁舎は、旧都庁舎を設計した建築家・丹下健三によって設計。1988年春に着工してから1990年12月に竣工するまでの大規模な建築工事を記録した。この建設記録映画は丹下の希望により35ミリフィルムで撮影された。（桜映画社はその後、横浜ランドマークタワー、東京国際フォーラム、東京駅丸の内駅舎の復原工事など数々の建設記録映画を担当している。）



東京都庁舎は、都心が東から西へと移動し、新宿副都心に新しい庁舎が建設された。新庁舎の場所には、1965年まで淀橋浄水場があり、玉川上水からの水を浄化し、新宿区や中央区など広い地域に供給していた。新庁舎の第一本庁舎は、高さ243mの超高層ビルで、最上部のツインビルは低層部に対して45度交差する大胆なデザインとなっている。45階にある展望室からは、東京タワーなどが一望でき、人気の観光スポットとなっている。

撮影当時、桜映画社は、建設現場に近い工学院大学の並びのスタンダードビルにあり、カメラマンたちは徒歩でカメラを担いで現場に通った。このビルは、旧帝国ホテルを設計したフランク・ロイド・ライトの弟子で日本にモダニズム建築をもたらしたアントニン・レーモンドが設計した小さなビルだったが、1995年に解体された。